

キリシタン資料の形容詞

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²

Adjectives in Christian Materials

Nahoko Murata*¹ Takeshi Maekawa*²

キーワード

中世後期、近世、形容詞、語彙表、語彙史、キリシタン

I はじめに

語彙研究および語彙史研究の立場から、これまで上代から中世に亘る日本語形容詞・形容動詞語彙について、〔1〕語構造論および造語論の両観点から分析を行って、一つ一つの語の語構成を記述するとともに、〔2〕当該語彙の史的研究のための基礎資料としてさまざまな語彙表をこれまで作成・公表してきた。また、一方では、語彙研究および語彙史研究分野の進展のための有益な資料となるべく、〔1〕および〔2〕の情報を蓄積したデータベースシステムを構築し、本資料を基にコンピュータによる量的データの分析的研究・実証的研究を行い、最終的には、「形容詞の語構成史」および「形容動詞の語構成史」を構築して、従来の研究方法では得られなかった知見を得ることを目標にこれまで研究を進めてきた。

中世後期から近世にかけての言語資料については、まず、中世後期の形容詞を概観する資料として、『時代別国語大辞典 室町時代編』と『邦訳 日葡辞書』を取り上げ、同辞典・辞書に採録された形容詞の一覧を作成した。次に、具体的な作品における形容詞の使用頻度等について調査するために、狂言の台本から『天正狂言本』『虎明本』『虎清本』『狂言六義』『狂言記』の5つを取り上げ、これらの作品に採録された形容詞の一覧を作成した。

本稿では、引き続き、中世後期から近世初期に用いられた形容詞の使用頻度等について調査すべく、キリシタン資料から『天草本平家物語』『天草版伊曾保物語』『天草版金句集』『懺悔録』の4つを取り上げ、どのような形容詞がどの台本にどれくらい使用されているかが一覧できる形式にて対照語彙表を作成した。

*1 むらた なほこ：大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授〈2013.11.7受理〉

*2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部教授

II 凡例

[1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

[2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

①子音交替形または母音交替形

例：ねむたし⇔ねぶたし (m⇔b)

②撥音の表記に関わるもの

例：やごとなし⇔やむごとなし

③促音を挿入したもの

例：にっくし⇔にくし

④その他

例：ゆきがたし⇔いきがたし

[3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞がついた語形は次のように扱った。

(1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…つきもなし→つきなし、きょくもなし→きょくなし等。

(2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…せんかたなし→するかたなし等。

(3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おなごりをし→なごりをし、ごもったいなし→もったいなしのように、接頭辞を外した語形で採る。

[4] 複合語の扱い

名詞+形容詞（例…よふかし・しふしんふかし）や動詞連用形+形容詞（例…をりがたし・はひりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であるかを示したものを。

[7] 作品ごとの出現数

各見出し語がそれぞれの作品で出現した数を示したものを。

表中の作品名は、「はじめに」の下線部で示したもので略記した。

[8] 既存の九資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

既存の九資料とは、【上代資料】【訓点資料】【八代集】【中古散文作品】【軍記物語】【今昔物語集】(注1参照)及び『邦訳 日葡辞書』『時代別国語大辞典 室町時代編』【狂言資料】(「はじめに」で述べた5作品)を指す。(表中では、下線部で示したもので略記した)

Ⅲ 調査に際して使用した資料

- 『天草本平家物語資料大成 CD-ROM』^(注5)
『エソポのハブラス 本文と総索引』^(注6)
『天草本金句集の研究』^(注7)
『コリヤードさんげろく私注』^(注8)

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成25-27年科学研究費補助金(基盤研究(C)、課題番号25370533)による研究成果の一部である。

注1 これまでに作成・公表した語彙表を、対象とした作品および作品群(【 】で囲んだもの、以下同じ)毎に示す。なお、各作品群に含まれる作品は次のとおりである。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中のみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記(仮名書き部分)・日本書紀(同)・風土記(同)・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【訓点資料】

- 『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』
- 【今昔物語集】
- 『今昔物語集』
- 【軍記物語】
- 『保元物語』『平治物語』『平家物語』
- 以下は、作品または作品群毎の語彙表
- 【中古散文作品】
- 「中古散文作品における形容動詞対照語彙表」『大阪国際女子大学紀要』26-2 [2001・3]
- 【上代資料】【八代集】【中古散文作品】
- 「古代語形容詞の語構成」『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]
- 「古代語形容詞逆引き対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-1 [2002・10]
- 【訓点資料】
- 「訓点資料の形容詞の語構成」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2003・10]
- 【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】
- 『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』[2005・11 和泉書院]
- 【今昔物語集】
- 「今昔物語集の形容動詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』18-2 [2005・1]
- 「今昔物語集の形容詞対照語彙表－天竺・震旦部－」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3]
- 「今昔物語集の形容詞対照語彙表－本朝仏法部－」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10]
- 「今昔物語集の形容詞対照語彙表－本朝世俗部－」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]
- 【軍記物語】
- 「軍記物語の形容動詞対照語彙表」『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]
- 「軍記物語の形容詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]
- 【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】【今昔物語集】【軍記物語】
- 「改訂・増補 古代語形容詞の語構成－上代～中世編－」『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]
- 「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表－上代～中世編－(前編)」大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]
- 「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表－上代～中世編－(後編)」大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]
- 「『形容詞対照語彙表』補遺」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]
- 注2 これまでの研究成果を、対象とした作品群毎に示す。
- 【上代資料】
- 「上代形容詞の語構成」『国語語彙史の研究』20 [2001・3 和泉書院]
- 【八代集】
- 「八代集の形容詞－語構成論的考察－」『帝塚山学院大学日本文学研究』32 [2001・2]
- 「八代集の形容詞－語彙の計量的分析－」『甲南国文』48 [2001・3]
- 【中古散文作品】
- 「ゲナリ型形容動詞－造語力拡大の様相について－」『国語語彙史の研究』18 [1999・3 和泉書院]
- 「平安時代の形容動詞－～ゲナリと～カナリ－」『国語学』52-1 [2001・3]
- 「中古散文の形容詞－語彙の数量的分析－」『表現研究』74 [2001・10]
- 「古代語形容詞の造語形式－中古散文の形容詞を中心に－」『帝塚山学院大学日本文学研究』33 [2002・2]
- 「中古散文22作品の類似度の測定」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-1 [2007・10]
- 「中古散文22作品の分類についての一試み」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-3 [2010・3]

【八代集】【中古散文作品】

「中古形容詞における特有語の性格」『帝塚山学院大学日本文学研究』36 [2005・2]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】

「語構造から見た古代語形容詞－二つの系列－」『帝塚山学院大学日本文学研究』34 [2003・2]

「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」『国語語彙史の研究』22 [2003・3 和泉書院]

「古代語形容詞の階層構造」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-2 [2003・3]

「上代形容詞の継承性と中古新出の形容詞」『滋賀大國文』41 [2003・7]

「形容詞・形容動詞語彙の量的構成－中古散文作品を中心に－」『日本語学』25-5 [2006・4]

「形容詞の生産性に関する一考察」『表現研究』86 [2007・10]

「ク活用形容詞とシク活用形容詞の量的性格と語構成」『国語語彙史の研究』28 [2011・3 和泉書院]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】

「訓点資料の形容詞－語彙の量的性格－」『帝塚山学院大学日本文学研究』35 [2004・2]

「中古形容詞の量的性格－既存の形容詞と新出の形容詞－」『滋賀大國文』42 [2004・7]

『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』[2005・11 和泉書院]

【今昔物語集】

「今昔物語集の形容動詞－語種からの分析を中心に－」『国語語彙史の研究』24 [2005・3 和泉書院]

「今昔物語集の形容動詞－～ゲナリと～カナリ（一）－」『滋賀大國文』43 [2005・7]

「今昔物語集のカナリ型形容動詞」『帝塚山学院大学日本文学研究』37 [2006・2]

【軍記物語】

「軍記物語の形容動詞の一考察」『国語語彙史の研究』26 [2007・3 和泉書院]

「軍記物語の形容詞についての一考察」『国語語彙史の研究』28 [2009・3 和泉書院]

注3

「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]

「『邦訳 日葡辞書』の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』26-1 [2012・10]

注4

「狂言の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-2 [2014・1]

注5 江口正弘・溝口博幸編 [2005 尚文出版]

注6 大塚光信・来田隆編 [1999 清文堂出版]

注7 山内洋一郎編 [2007 汲古書院]

注8 大塚光信 [1985 臨川書店]

国際研究論叢

NO.	上代	調点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
1		○	○	○	○	○	○	○	○	あかし	赤	ク	2			
2	○		○	○	○	○	○	○	○	あかし	明	ク	2			
3										あくし	悪	シク				1
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あさし	浅	ク	3	3		2
5			○	○	○	○	○	○	○	あさまし	浅	シク	10	2		
6	○		○	○	○	○	○	○	○	あし	悪	シク	22	3	1	
7		○	○	○	○	○	○	○	○	あたらし	新	シク	4	1	1	
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あつし	厚・敦	ク				3
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あつし	暑・熱	ク	4			1
10			○	○						あとなし	跡無	ク	1			
11		○		○		○			○	あはし	淡	ク				2
12					○		○	○		あぶなし	危	ク	1			2
13		○		○			○	○	○	あまし	甘	ク				2
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あまねし	遍・普	ク	1	1		
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あやし	靈異・奇・怪	シク	5			
16		○	○	○	○	○		○	○	あやふし	危	ク	1	3	13	
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	あらし	荒・疎	ク	2			
18										あらためにくし	改	ク		1		
19	○			○	○	○	○	○	○	ありがたし	有難	ク	8			
20				○		○				ありなし	有無	ク		1		
21	○			○			○	○	○	いかし	厳	シク	6			4
22					○		○	○	○	いし	美	シク	2			
23				○		○	○	○	○	いそがし	忙	シク				1
24		○			○			○	○	いそがはし	忙	シク				1
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	いたし	痛・甚	ク	3	2		
26	○	○		○	○			○	○	いたはし	労	シク	6			
27				○		○				いたりがたし	至難	ク		1		
28	○	○		○		○	○	○		いつくし	厳	シク	1			
29									○	いつとなし		ク	3			
30		○	○	○	○		○			いとけなし	幼	ク	12			1
31	○		○	○	○	○		○	○	いとほし	労・愛	シク	6	1		
32				○	○	○		○		いふかひなし	言甲斐無	ク	3			
33	○		○	○	○		○	○		いぶせし	鬱	ク	2			
34				○	○	○	○	○	○	いまいまし	忌忌	シク	2			
35				○	○	○		○	○	いみじ	0	シク		1		
36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	いやし	賤・卑	シク	1	7	8	
37		○	○	○		○			○	いりがたし	入難	ク	1			
38						○				いりやすし	入易	ク		1		
39	○		○	○	○	○	○	○	○	うし	憂	ク	7	1		
40			○	○	○	○	○	○		うしろめたし	後不安	ク	1			
41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	うすし	薄	ク				2
42							○	○		うそあまし	甘	ク		1		
43	○	○	○	○	○	○		○		うたがはし	疑	シク	2	1		
44				○	○		○	○	○	うたてし		ク	5			
45	○		○	○	○	○	○	○	○	うつくし	愛・美	シク	6			1
46		○			○	○				うつつかし	堆	ク				1
47				○	○		○	○		うとうとし	疎疎	シク	1	1		
48		○	○	○	○	○	○	○	○	うとし	疎	ク	2	1		
49			○	○	○	○	○	○	○	うとまし	疎	シク	4	1		

キリシタン資料の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
50	○		○	○	○		○	○	○	うらめし	恨・恹	シク	11			
51			○	○	○	○	○	○	○	うらやまし	羨	シク	3	2		
52	○		○	○	○	○	○	○	○	うれし	嬉・歛	シク	16			
53		○		○		○				えがたし	得難	ク			1	
54										えきなし	益無	ク		3		
55										えたりかしこし	得賢	ク		1		
56						○				おこたりなし	怠無・緩無	ク		1		
57					○					おさへがたし	抑難	ク	1			
58	○	○	○	○	○	○	○	○	○	おそし	遅・鈍	ク	7			
59				○			○	○		おぞし	悍	ク	1			
60										おそれふかし	恐・深	ク	1			
61			○	○	○	○	○	○	○	おそろし	恐	シク	16		1	
62				○	○		○	○		おだし	穩	シク	2			
63										おちがたし	落難	ク		1		
64					○		○	○	○	おとなげなし	大人気無	ク	1			
65				○			○	○	○	おとなし	大人	シク	6			
66	○	○	○	○	○	○		○	○	おなじ	同	シク	98	6	11	7
67										おひがたし	追難	ク			1	
68				○	○	○		○		おびたし	夥	シク	14	2		1
69									○	おほきし	大	ク			1	
70	○	○	○	○	○	○		○	○	おほし	多・大	ク	51	16	16	4
71				○	○	○	○	○	○	おぼし	思	シク	7	3		
72							○	○		おぼつかなし	覚束	ク	12	1		
73				○			○	○		おもおもし	重重	シク	7		1	
74	○	○	○	○	○	○	○	○	○	おもし	重	ク	8	4	4	
75	○		○	○	○	○	○	○	○	おもしろし	面白	ク	7	2		
76			○	○	○	○		○	○	おもはし	思	シク	1			
77					○		○	○		おもはゆし	面映	ク	1			
78				○	○				○	およびがたし	及難	ク	2			
79		○		○	○	○		○	○	かうばし	香	シク	1		2	
80										かかりやすし	懸易	ク			1	
81		○	○	○	○	○		○	○	かぎりなし	限無	ク	1	1		
82			○	○	○	○		○	○	かくれなし	隠無	ク		1		
83										かけりがたし	翔難	ク	1			
84	○	○	○	○	○	○	○	○	○	かしこし	恐・畏・賢	ク	4	3	9	
85				○			○	○	○	かたくなし	頑・癡	シク	1			
86	○	○	○	○	○	○	○	○	○	かたし	固・堅	ク		2	1	1
87	○	○	○	○	○	○	○	○	○	かたし	難	ク	5	2	2	
88	○	○		○	○	○	○	○	○	かたじけなし	辱・忝	ク	7	5		
89				○	○	○	○	○	○	かたはらいたし	傍痛	ク	1			
90										かたむけがたし	傾難	ク	1			
91	○	○	○	○	○	○	○	○	○	かなし	悲・哀・愛	シク	20	1	1	2
92				○	○	○			○	かなひがたし	適難	ク	2	1		
93				○	○			○	○	かひがひし	甲斐甲斐	シク	4			
94			○	○	○	○		○		かひなし	甲斐無	ク	14	2	1	
95	○		○	○	○	○	○	○	○	からし	辛・鹹・酷	ク	2	5		
96				○			○	○		かるがるし	輕輕	シク			2	
97	○			○	○	○	○	○	○	かるし	輕	ク	1	2		
98		○		○	○	○	○	○	○	かるし	輕	ク	1		4	

国際研究論叢

NO.	上代	調点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
99							○	○	○	きつし		ク		1		1
100		○		○		○			○	きはまりなし	極無	ク		1		
101		○		○	○	○	○			きびし	蔽・密	シク	2		1	
102									○	きよくなし	曲無	ク				1
103	○	○	○	○	○	○	○	○	○	きよし	清	ク				4
104		○	○	○		○	○	○	○	くさし	臭	ク				2
105				○	○	○		○	○	くちをし	口惜	シク	17	3		1
106	○	○		○	○	○		○	○	くはし	妙・細・詳	シク	1	1		
107	○		○	○	○	○	○	○	○	くやし	悔	シク	2			
108	○	○	○	○	○	○	○	○	○	くらし	暗	ク	9		5	1
109	○	○	○	○	○	○	○	○	○	くるし	苦	シク	20	1		
110	○	○	○	○	○	○	○	○	○	くろし	黒	ク	10	1		
111	○			○	○	○		○		けし	異・怪	シク	4			
112				○	○	○			○	けだかし	気高	ク		2		
113		○		○	○	○		○	○	けはし	険	シク	1			
114								○		こがるし	小軽	ク		1		
115				○						こちよし	心地良	ク	1			
116				○	○	○	○	○	○	こころうし	心憂	ク	14			
117							○	○		こころうれし	心嬉	シク	1			
118	○			○	○	○	○	○		こころぐるし	心苦	シク	9			
119			○	○	○	○		○		こころづよし	心強	ク	2			
120	○	○	○	○	○	○		○		こころなし	心無	ク	5			
121				○	○	○	○	○	○	こころにくし	心憎	ク	2			
122			○	○	○	○	○	○	○	こころほそし	心細	ク	8			
123			○	○	○	○	○	○	○	こころもとなし	心許無	ク	2			
124			○	○	○	○	○	○	○	こころやすし	心安	ク	4	3	2	1
125		○		○	○	○	○	○	○	こころよし	快	ク	2			
126			○	○	○	○				こころをさなし	心稚	ク	1			
127			○	○	○	○	○	○	○	こし	濃	ク	2			
128				○				○		ことあたらし	事新	シク	2			
129			○	○		○			○	ことごとし	事事	シク			1	
130				○						ことゆゑなし	事故無	ク	1			
131	○	○		○	○			○	○	こはし	強	ク	3			
132	○		○	○	○	○		○	○	こひし	恋	シク	18			
133				○	○	○				さうなし	左右無・双無	ク	5	2		2
134								○		さかざかし	賢々	シク	1			
135			○	○	○	○	○	○	○	さだめなし	定無	ク			1	
136	○		○	○	○	○	○	○	○	さびし	寂・淋	シク	3			
137										さへがたし	障難	ク	1			
138	○	○	○	○	○	○	○	○	○	さむし	寒	ク	2		4	
139				○	○	○	○	○	○	さがりがたし	去難・避難	ク	1			
140			○	○	○	○	○	○	○	さわがし	騒	シク	1			
141	○	○	○	○	○	○	○	○	○	しげし	繁・茂	ク	7			
142		○		○	○	○	○	○	○	したし	親	シク	10	2		
143					○			○		したはし	慕	シク	1			
144	○		○	○				○		しづけし	静	ク	1			
145		○		○	○	○			○	しりがたし	知難	ク	1			
146	○		○	○	○	○	○	○		しるし	知・灼・著	ク	1			
147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	しろし	白	ク	6			

キリシタン資料の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
148	○	○	○	○	○	○	○	○	○	すくなし	少	ク	7	2	5	2
149										すげなし	0	ク	4			
150		○	○	○	○	○	○			すさまし		シク	1			
151	○	○	○	○	○	○	○	○	○	すずし	冷・涼	シク			1	
152					○		○	○	○	すすどし	鋭	ク	1			
153								○	○	すぢなし	筋無	ク		1		
154			○	○	○	○			○	するかたなし	為方無	ク	5	1		
155	○	○	○	○	○	○	○	○	○	せばし	狭	ク	4			
156		○						○		せばせばし	狭狭	シク			1	
157					○	○			○	ぜひなし	是非無	ク		1		
158					○					せめおとしがたし	責落難	ク	1			
159					○		○			せんなし	詮無	ク	5			
160										そのこととなし		ク	1			
161										そばちかし	傍近	ク		1		
162		○		○		○				そむきがたし	背難	ク	1			
163										ぞんじなし	御存	ク		1		
164	○	○	○	○	○	○	○	○	○	たかし	高	ク	19	4	8	3
165			○	○		○			○	たぐひなし	類無	ク	1			
166		○			○		○	○	○	たくまし	快・逞	シク	2			
167	○		○	○	○	○	○	○	○	たけし	武・猛	ク	7	2	4	
168		○		○	○	○	○	○	○	ただし	正	シク	2		12	
169	○	○		○	○	○		○	○	たふとし	貴・尊	ク	1		3	
170	○	○	○	○	○	○	○	○	○	たのし	楽	シク	1		1	
171	○		○	○	○	○	○	○	○	たのもし	頼	シク	6			5
172				○				○		たのもしげなし	頼気無	ク		1		
173		○		○	○	○		○	○	たへがたし	堪難	ク	1			
174	○	○		○	○	○	○	○	○	たやすし	輒・容易	ク	6	7		
175				○	○	○	○			たよりなし	便無	ク	2			
176	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ちかし	近	ク	20	9	7	1
177	○	○		○	○	○	○	○	○	ちひさし	小	ク	3	2	1	
178					○					ちりやすし	散易	ク			1	
179	○	○	○	○	○	○	○	○	○	つたなし	怯・拙	ク	1	1		
180	○					○		○		つつがなし	無恙・無事	ク		2		
181							○	○		つばし	窄			1		
182			○	○	○	○		○		つゆけし	露	ク	1			
183	○	○	○	○	○	○	○	○	○	つよし	強	ク	20	4	2	
184	○		○	○	○	○	○	○	○	つらし	辛	ク	1			
185			○	○	○	○	○	○	○	つれなし	無情	ク	5			
186							○	○		てづよし	手強	ク	1			
187										とく	疾		1			
188			○	○	○	○	○	○		ところせし	所狭	ク	1			
189	○	○	○	○	○	○	○	○	○	とし	利・敏・疾	ク	1		1	
190							○			としひさし	年久	シク		1		
191										ととのえがたし	調難	ク			1	
192	○	○	○	○	○	○		○	○	とほし	遠	ク	6	3	7	
193	○	○		○	○	○	○	○	○	ともし	乏	シク		1	2	
194	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ながし	長	ク	11		2	
195	○		○	○			○	○		ながながし	長長	シク	1			
196					○		○	○		なごりをし	名残惜	シク	3			1

国際研究論叢

NO.	上代	調点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
197				○	○	○	○	○	○	なさけなし	情無	ク	3			
198				○	○					なさけふかし	情深	ク	2			
199	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	無	ク	385	133	97	26
200			○	○					○	なだかし	名高	ク	1			
201	○		○	○	○		○	○	○	なつかし	懐	シク	4			
202				○	○	○			○	なにとなし	何無	ク	2			
203		○		○		○		○		なほし	直	ク				1
204							○	○		なまぬるし	温	ク		1		
205		○		○		○	○		○	なりがたし	成難	ク	1			
206				○		○	○	○		なれなれし	馴馴	シク		1		
207				○		○			○	なんなし	難無	ク		1		
208						○	○	○	○	にがし	苦	ク				2
209					○		○	○	○	にがにがし	苦苦	シク	1			
210	○		○	○	○	○	○	○	○	にくし	憎	ク	11	1		1
211	○		○	○			○	○	○	ぬるし	温	ク	1			
212	○		○	○	○	○	○	○		ねたし	嫌・妬	ク	1			
213			○	○	○				○	ねぶたし	眠・睡	ク	1			
214				○	○	○				のがれがたし	遁難	ク	2	1		
215										のこりずくなし	残少	ク	2			
216			○	○		○		○	○	のこりなし	残無	ク	1			
217							○	○		のぞまし	望	シク		1		
218						○			○	ぼうじがたし	忘難	ク				1
219			○	○	○	○	○	○	○	はかなし	果無・果敢無	ク	11			2
220				○	○	○	○	○		はかばかし		シク	2			
221		○	○	○	○	○	○	○	○	はげし	激・烈	シク	10	1		2
222				○	○	○	○	○	○	はしたなし	端	ク	2			
223				○	○			○		はちがまし	恥	シク	1			
224	○		○	○	○	○	○	○	○	はづかし	恥	シク	7			
225		○		○	○		○	○	○	はなはだし	甚	シク				2
226	○	○	○	○	○	○	○	○	○	はやし	早・速	ク	15	2	1	2
227										ひきあげがたし	引上難	ク		1		
228					○	○	○	○	○	ひきし	低	ク		1		2
229	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ひさし	久	シク	7		2	1
230							○	○	○	ひだるし	饑	ク				2
231		○	○	○		○	○	○	○	ひとし	等・斉	シク		1		3
232										ひるいなし	比類無	ク	1			
233	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ひろし	広	ク	7	1		4
234	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ふかし	深	ク	17	8	4	16
235										ふせぎがたし	防難	ク				1
236	○	○		○	○	○	○	○	○	ふとし	太	ク	1			
237	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ふるし	古・旧	ク	6	1		1
238				○						へだてなし	隔無	ク				1
239										べんぎよし	便宜良	ク	1			
240				○	○	○	○	○	○	ほいなし	本意無	ク	9	2		
241										ほうじつくしがたし	報尽難	ク	1			
242	○	○		○		○	○	○	○	ほそし	細	ク				1
243		○	○	○	○	○	○	○	○	ほどなし	程無	ク	4	2		
244										ほどひさし	程久	シク				1
245				○	○		○	○		ほのぐらし	仄暗	ク	1			

キリシタン資料の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
246										ほろびやすし		ク		1		
247					○					まうしやすし	申安	ク	1			
248				○	○		○	○	○	まことし	実	シク	1			
249		○	○	○	○	○	○	○		まさし	正	シク	1		1	
250	○		○	○	○	○				まちかし	間近	ク	1			
251	○	○		○	○	○	○	○	○	またし	全・完	ク	2		1	
252	○	○		○		○		○		まづし	貧	シク			3	
253										まはしやすし	廻易	ク	1			
254		○								まもりがたし	守難	ク			1	
255			○	○						みえがたし	見難	ク			1	
256				○	○	○	○	○	○	みぐるし	見苦	シク		4	2	1
257	○	○	○	○	○	○	○	○	○	みじかし	短	ク	2		1	
258										みしりにくし	見知難	ク			1	
259										みしりやすし	見知易	ク			1	
260				○				○		みだれがはし	乱	シク	1	1	3	
261							○	○		みちれなし		ク		1		
262	○			○	○	○	○	○		みにくし	醜	ク	1	3		1
263				○			○			みみちかし	耳近	ク		1		
264					○			○		みめよし	見目良	ク	1			
265							○			みやすし	見易	ク			1	
266				○		○	○	○	○	むつかし	難	シク	2	1	1	1
267	○	○	○	○	○	○	○	○	○	むつまし	親・睦	シク	1		1	
268	○	○	○	○	○	○	○	○	○	むなし	空・虚	シク	12	3	2	
269	○		○	○	○	○		○	○	めづらし	珍	シク	4	2		
270			○	○	○	○	○	○	○	めでたし	愛	ク	8			
271				○	○				○	めんぼくなし	面目無	ク	2			
272										もくさもなし	目算無	ク		1		
273										もとめがたし	求難	ク			1	
274			○	○	○	○	○	○	○	ものうし	物憂	ク	3	1		
275	○			○	○		○	○		ものがなし	物悲	シク	1			
276							○	○		ものがまし		シク	1			
277				○	○	○		○		ものぐるはし	物狂	シク	1			
278				○	○		○	○		ものさびし	物寂	シク	1			
279				○	○	○	○	○		ものさわがし	物騒	シク	2			
280				○	○					ものすさまじ	物凄	シク	1			
281										もれやすし	泄易	ク			1	
282	○		○	○	○		○	○	○	もろし	脆	ク	1			
283		○		○	○	○		○	○	やむごとなし	止事無	ク	1			
284	○		○	○	○	○	○	○	○	やさし	恥・優	シク	2	1		
285	○	○	○	○	○	○	○	○	○	やすし	安・易	ク	16	9	7	3
286										やぶれやすし	敗易	ク			1	
287				○						やまふかし	山深	ク	1			
288			○	○	○	○	○	○	○	ゆかし		シク	1	1		
289	○		○	○	○	○	○	○	○	ゆゆし	齷忌・忌	シク	3			
290	○	○	○	○	○	○	○	○	○	よし	良・好・善	ク	17	33	36	22
291		○		○	○	○	○	○	○	よしなし	由無	ク	12			
292	○	○		○	○	○	○	○	○	よろし	宜	シク	1			
293	○		○	○	○	○	○	○	○	よわし	弱	ク	8	5	2	
294	○	○	○	○	○	○	○	○	○	わかし	若	ク	20			2

国際研究論叢

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	狂言	見出し語	漢字	活用	平家	伊曾保	金句	懺悔
295						○				わかちがたし	分難	ク	1			
296										わきまえにくし	辨難	ク			1	
297										わきまへがたし	弁難	ク		1		
298			○	○		○			○	わすれがたし	忘難	ク	2		1	
299		○								わたくしなし	私無	ク		1		
300			○	○	○	○	○	○		わりなし	理無	ク	1			
301				○	○		○	○	○	わるし	悪	ク	4		3	11
302				○	○	○		○	○	をかし	可咲・可笑	シク	3			
303				○	○	○		○	○	をさなし	幼	ク	1			1
304										をさまりやすし		ク			1	
305	○	○	○	○	○	○		○	○	をし	惜・愛	シク	17			